



研修医通信 vol.109 令和3年6月



松阪市民病院2年目研修医 原 将希

紀南病院にお世話になり一か月、とてもはやいものでした。研修は神川診療所・紀和診療所というへき地の診療所での研修を中心に行わせていただきました。機材も薬も限られ、他科コンサルトも困難、大きな病院や大学病院に送ることも難しい、そのようななかでどのように診察と治療を行っていくのかを真剣に考えている現場に立ち会うことができ、とても勉強になりました。一方で、そのようなへき地においても先生やコメディカルの方々が生き生きと楽しそうに仕事をしている様子が印象的でした。紀南病院自体も若い先生が中心となって、自分の得意な科に限ることなくお互いに相談し助け合いながら働いている状態を目の当たりにし、都会の大病院では学ぶことのできないものがあるのだと感銘を受けました。紀南病院と診療所で学ばせていただいたことは、私にとって間違いなく一生のものになると実感しています。一か月間本当にありがとうございました。



鈴鹿中央総合病院2年目研修医 大植 裕之

研修医1年目の4月から9月まで当院で内科研修を行いました。しかし研修始まりということもあり、カルテの使い方や救急外来の方に集中してしまい、内科研修、特に病棟管理を疎かにしてしまいました。今回、紀南病院では内科病棟管理が出来るということで選択しました。紀南病院の内科の印象としては、若手の先生が多いことです。僕は4年目の先生に1か月間ご指導して頂いたのですが、年数が近いこともあり、話しやすく、色々なことを相談させて頂きました。内科では救急外来に来た患者様の入院から退院まで診させて頂きました。先生方のバックアップが勿論あってのことですが、治療方針を自分で考えて、実際に指示を出すことができ、今まで見えていなかった多くの課題を認識することが出来ました。3年目以降、本当にやっていけるのか不安だったのですが、仕事内容や考え方を能動的に、具体的に学ぶことが出来て、少し自信ができました。紀南病院に来て本当に良かったと思います！紀州は観光・酒・肴も最高です！！刺激的な研修生活を送りたい方は是非お考えください！

